

活動報告

■活動日時： 2023年11月19日（日） 9：30～15：30

■プログラム名：アカマツ林整備

■目的：アカマツの保全、生育促進によるアカマツ群落の形成

■活動場所：アカマツ林全域（A～F地区）

■作業内容：草、萌芽枝刈り及びアカマツ幼木の間伐

■参加者：10名

■活動概要

前回は雨天中止、今回も前々日は荒れ模様で不安定な天候に少し気をもみましたが、当日は朝方ちょっと冷え込んだものの日中は気持ちの良い作業日和となりました。

参加者10名、念入りの準備運動で体をほぐしてアカマツ林へ向かい、3班に分かれて作業をはじめました。

C、D地区では斜面中腹の作業道と尾根部の遊歩道間のアカマツ幼木周辺を中心に、シダやカヤ等の草や、ハゼ、ヌルデ、イヌザンショウ等の萌芽枝を刈りました。

E、F地区でも遊歩道沿い緩斜面や崖部の幼木周辺を中心に刈りました。実生が生えている場所や幼木周りは手道具で丁寧に、遊歩道の背丈の高い草は刈払機を使って刈り取った後には、異口同音に「スッキリなった！」の感想が出ました。

一方、全域の中で最もアカマツの生長が著しいA地区では密生した幼木の間伐を行ないました。本格的な間伐は初めてでその本数も多く、長年生長を見てきたベテラン会員からは「感無量！！」の声も。腐りにくい特質を持つアカマツの間伐材（直径3～10cmの部分）は作業道の材料に使うことにしました。

このほか保護対象の林床植物の生息区域の整備も行いました。春の芽吹き、開花が楽しみです。また作業中は生き物との遭遇もあります。可愛い蝶がいるかと思えば、危険なスズメバチやツチハンミョウ、マムシもいました。多様な自然の中での作業、天気にも恵まれ、ケガなく終わることが出来て良かったです。





〈今回の参加メンバーです。〉